場	所	i	分類		
原子炉建屋内	RB			1	時間
タービン建屋内	(\mathbb{H})	RR		2	距離
R ZONE	R	ן אין		\odot	遮へい
Y ZONE	Υ		∵ ≺	4	線源の除去
G ZONE	G	ŤD		5	遠隔、ロボット化
その他(7			6	汚染拡大防止
	_				

被ばく低減対策好事例集

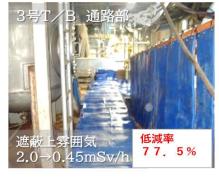
G ZONE	G	TD		5 遠隔、味ット化						
その他() Z	ΙО		6汚染拡大防止7その他	番号		01-08			
内	容	滞留水排水設備設置に伴う仮設遮へいの実施								
作業	部位	1~4号機原子炉建屋・タービン建屋他								
概	略	作業場所が1~4号機原子炉・タービン、RW/B他と多岐にわたる滞留水排水設備設置作業において、モックアップ訓練、アクセス性の改善・通路の遮へい等を実施した。								
評価定性・定量	価	効果			対策	策前	対策後			
	.—		効 果	線量率(mSv/	/h) 2.0他(下	記参照)	0.45他(下記参照)			
				人工数(人日	-					

事例詳細

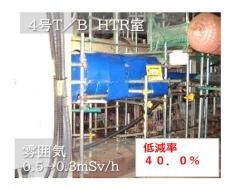
対策前 作業エリアが多岐にわたり、高線量率箇所が点在していた。

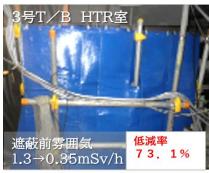
対策内容 被ばくの多い作業エリアを中心に遮へいを実施し、最大78%の減少となった。併せて、通行時の被ばく 低減にも考慮した。

各エリアの高線量率箇所に遮へいを実施

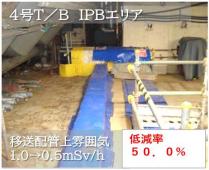












作業時のほか、通行時も考慮した被ばく低減対策

編集:株式会社日本環境調査研究所